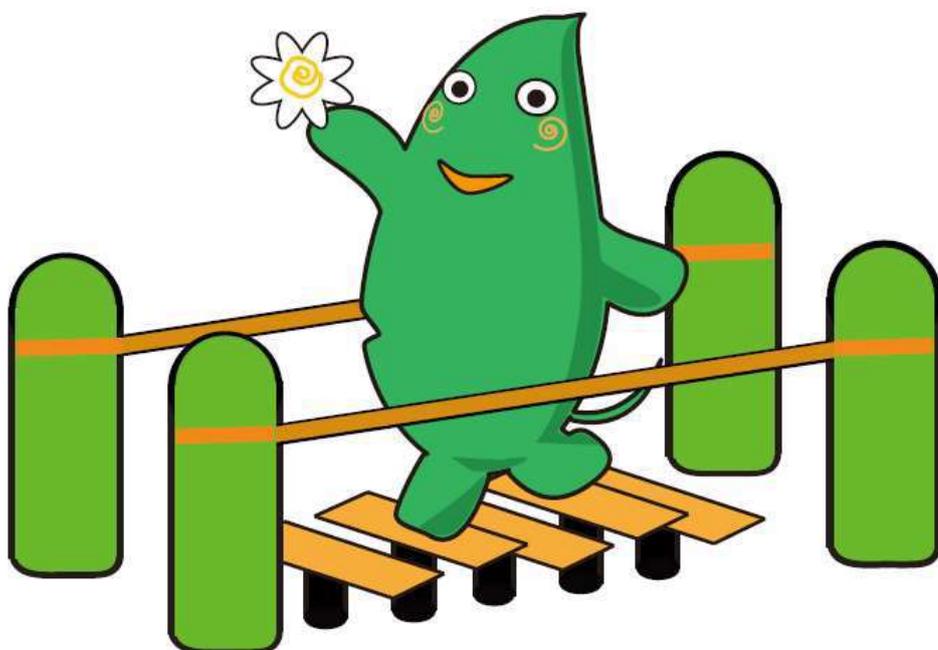




市民活動のツボマーク「あの手この手」
Solution(解決)のSを表しています。

令和5年度 大和市 協働事業活動報告書



大和市イベントキャラクター ヤマトン

大和市 市民活動課 / 大和市民活動センター

令和5年度実施 協働事業一覧

◆令和4年度提案事業（令和5年～7年度実施予定事業）

	事業名	種類	協働事業者／市の事業担当課	頁
1	障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた共助・共生社会の実現を目指す事業	市民 提案型	NPO 法人大和市腎友会／ 指導室、健康福祉総務課	1
2	家庭訪問型子育て支援 ホームスタート事業	市民 提案型	NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ チャイルドケア／すくすく子育て課	4

◆令和3年度提案事業（令和4年～6年度実施予定事業）

	事業名	種類	協働事業者／市の事業担当課	頁
3	ふれあいの森ドッグラン運営管理	市民 提案型	結の会／ みどり公園課	7
4	地域で支え合う「のりあい」を走らせよう	市民 提案型	地域と市との協働「のりあい」／ 街づくり総務課	10
5	生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ「つま読み書きの部屋」	市民 提案型	NPO 法人かながわ難民定住援助協会 ／国際・男女共同参画課	14
6	地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業	市民 提案型	渋谷きんりん未来の会／ 図書・学び交流課	17
7	移動制約者の外出介助サービス事業	市民 提案型	NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ ケアびーくる／障がい福祉課	21
8	移動制約者の外出介助サービス事業	市民 提案型	NPO 法人大和市腎友会／ 障がい福祉課	25
9	移動制約者の外出介助サービス事業	市民 提案型	NPO 法人たんぼぼ／ 障がい福祉課	28
10	みんなでつくろう安心のまち事業	行政 提案型	大和女性防犯会／ 生活あんしん課	31

◆令和2年度提案事業（令和3年～5年度実施事業）

	事業名	種類	協働事業者／市の事業担当課	頁
11	大和市民活動センターの管理運営	行政 提案型	拠点やまと／ 市民活動課	35

1. 障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた 共助・共生社会の実現を目指す事業

事業名称	障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた 共助・共生社会の実現を目指す事業	
事業者	NPO 法人 大和市腎友会	
市担当課	指導室、健康福祉総務課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	13年（令和5年度を含む）	
令和5年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 13,600円 市担当課の執行額（注2）： 0円	
事業の目的	① 小中学生という若い日に、障がい者が日頃感じていることや生き方を知り、 自分の健康や生き方、災害時の共助を考えてもらうため ② 地域の防災訓練では、参加者に障がい者への災害時の共助と共生を考えて もらうため	
事業の内容	① 透析者が、透析による身体的、経済的、精神的苦しさや、健康がいかに大 事か、災害時自力での避難に不安をもっていることを、小中学生に知って もらいたい、弱者への気遣いのお願いと共助を考えてもらう ② 透析者が、地域防災訓練に参加し、参加者に身近な障がい者の存在を知り、 共助と共生の在り方を考えてもらう	
令和5年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	2023/11/2 → 2023/12/7 →	(1) 中央林間小学校4年4クラスとのふれあい体験 ・ 講師への依頼と日程確認 ・ 小学校に開催日の相談と決定 ・ 小学校に訪問し、実施内容について説明 ・ 小学校に講師名・ボランティア等の報告及び進め方 と時間の確認 ・ 事前学習として、中外製薬の「透析を受けられる患 者さん」の小冊子を持参する ◆ 11時35分～12時20分で実施する 講師1名・ボランティア2名で対応 (2) 鶴間中学校2年4クラスとのふれあい体験 ・ 事前確認等は、上記の中央林間小学校と同じ内容を 対応する ◆ 11時45分～12時30分で実施する 講師1名・ボランティア2名で対応 ※下鶴間連合自主防災訓練は、令和5年度も中止とな りました

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和5年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) ①小学校は、健康と腎臓について、よくわかりましたと言ってくれました。 ②中学校は、腎臓の働きと疾患について、全員が真剣に聞いておりました。 腎不全・慢性腎不全になると、透析治療や腎移植が必要となってくる説明をすると理解してくれました。 ※腎臓と透析治療の関係について、理解していただきました。達成です。	(コメント) 課名:指導室 透析者の方の不安や苦しさを直接お聞きすることで、小中学生は、自分の身に置き換えて、命の尊さに気づき、自分たちにできることは何かを考えることができた。 (採点) 5・4・③・2・1 (コメント) 課名:健康福祉総務課 避難行動要支援者支援制度の主管課として本事業に対する情報提供等の対応は可能だが、今年度実施した事業の中での関わりはなかった。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) ①講師が、透析患者なので、自分の経験談を入れて話をしてくれたので、生徒たちは勉強になったと思います。 ②講師が、1クラス40人前後で、「家族や身近の方で透析治療をしている方がいますか。」という質問をしたところ、1人の生徒が手を挙げました。 身近に透析治療をしている方がおられることを再認識しました。	(コメント) 課名:指導室 患者の方のご体調もある中で、学校に直接行ってお話とふれあう機会をいただけることは、貴重な機会になっている。学校との連絡も直接しっかりとっていただいた。 (採点) 5・4・③・2・1 (コメント) 課名:健康福祉総務課 避難行動要支援者支援制度の主管課として本事業に対する情報提供等の対応は可能だが、今年度実施した事業の中での関わりはなかった。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) ①今年は、講師が1人で対応できた。昨年の中中央林間小学校では、講師が4人とボランティア4人で対応していました。 ②講師が、パワーポイントで説明したので、生徒の反応はよかったと思っています。	(コメント) 課名:指導室 実施校にて、スケジュールどおりに実施できた。予算はなし。 (採点) 5・4・③・2・1 (コメント) 課名:健康福祉総務課 予算はなし。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) ①中学校の先生は、事前に質問事項を生徒たちから聞いて、まとめていたので、大変助かりました。 ②両校とも、積極的に協力してくれましたので、感謝しております。	(コメント) 課名：指導室 共生社会の観点から、児童・生徒にとって、直接お会いして透析のお話をしていただけるとの貴重な機会は、今後も必要であると考えます。
	(採点) 5・4・③・2・1
	(コメント) 課名：健康福祉総務課 避難行動要支援者支援制度の主管課として本事業に対する情報提供等の対応は可能だが、今年度実施した事業の中での関わりはなかった。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
①大和市のじん臓機能障がいの方は、全部で何人いるのでしょうか。教えてください。よろしくお願いたします。	課名：指導室 特になし。今後も事業者と連絡を密にとって進めていきたいと思う。
②他の学校にも広げたいと考えておりますが、透析患者さんで講師になっていただく方がおられないため、苦慮しております。	課名：健康福祉総務課 じん臓機能で障がい者手帳1級をお持ちの方は大和市内で646人（R5.3.31現在）。令和5年度は地域防災訓練の実施もなく、関わりはなかった。 今後は、地域防災訓練の計画の動向を注視し、事業者と事業展開を図っていきたい。

2. 家庭訪問型子育て支援ホームスタート事業

事業名称	家庭訪問型子育て支援ホームスタート事業	
事業者	NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ チャイルドケア	
市担当課	すくすく子育て課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	4 年（令和5年度を含む）	
令和5年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 914,717円 市担当課の執行額（注2）： 200,000円	
事業の目的	家庭訪問型支援活動を推進し、子育て中の親の負担軽減、親子の精神的安定を図る。	
事業の内容	6歳未満の子どもがいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が、週に1回2時間程度訪問し、傾聴や親と一緒に子育てや外出をする子育て支援ボランティア活動。 市等が実施する様々な子育て支援施策が上手に利用できない、支援が届いていない、支援の間で誰かの手助けを必要としている「気になる家庭（虐待やトラブル等が発生していないが、ストレスの高い孤立家庭）」に支援を行う活動。	
令和5年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	R5.4.1~ R6.3.31	訪問ビジター数・・・24名/33名 訪問オーガナイザー数・・・3名/3名 利用申し込み件数・・・48件 実際に訪問した件数・・・46件 (うち双子がいる家庭・・・10件) 訪問回数・・・延べ435回 HV（ホームビジター）養成講座 R5.6.5（月）～R5.7.31（月） 9：30～16：30 参加者7名 HV登録者6名 OG（オーガナイザー）養成講座 R5.8.26（土）～R5.8.28（月） オンライン R5.9.2（土） 参加者1名 OG登録者1名

		HV養成講座説明会 R5.5.16(火)2名 R5.5.18(木)3名 R5.5.29(金)2名
--	--	---

(注1): 事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2): 市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和5年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 利用した家庭のモニタリングをするとHS(ホームスタート)を利用している間、その後も孤立感が和らぐ、又は解消されたとの声がほとんどだった。	(コメント) 核家族化、地域の希薄化による中で、ボランティアが訪問することにより、子育て家庭の孤立感を緩和することに役立っている。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・③・2・1	(採点) 5・4・③・2・1
(コメント) 利用者も訪問する側も、感染対策をしてもコロナ、インフルエンザ、RSウイルス等で予定が順調に進まず滞ることが多かった。また、夏の猛暑も活動を妨げた。	(コメント) オンライン対応やマスク着用・アルコールの徹底など、感染対策を工夫したが、利用者、訪問者双方で感染者が出てしまうと、予定を延期せざるを得ないこともあった。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 今年度はOG養成講座も受講し、HV6名、OG1名が登録された。	(コメント) 市の当初予算200,000円で実施できている。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・４・３・２・１	(採点) ⑤・４・３・２・１
(コメント) 利用者のほとんどが市の健診や保健師訪問によるHSの活動紹介を聞いて申し込みをしている。利用者の口コミよりもまだまだ市からのアプローチが有効と感じる。 また協働事業であることが信用度を上げている。	(コメント) 同課内で行っている市の健診や保健師訪問をする際に、活動の紹介を行った。また、育児相談などの行政による支援につながった事例があった。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
・必要とされる家庭へのHSの活動が届くための周知。 ・活動を支えるボランティア育成のための周知。	・市民への周知と利用者の増。

3. ふれあいの森ドッグラン運営管理

事業名称	ふれあいの森ドッグラン運営管理	
事業者	結の会	
市担当課	みどり公園課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	17年（令和5年度を含む）	
令和5年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 110,000円 市担当課の執行額（注2）： 994,950円	
事業の目的	犬のしつけとマナーの向上及び、犬と人との触れ合いを通して 会員相互の親睦を図り、ドッグランの運営を介して地域社会に 貢献すること。	
事業の内容	会員登録説明会の企画運営（グリーンアップセンターにて3か月毎） 毎月第3日曜日に犬同伴の公園清掃（夏季7・8月を除く。今期は9月も猛 暑のため中止とした。） ドッグランの運営及びイベント企画	
令和5年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	2023.06.03(土) 2023.09.03(日) 2023.12.09(土) 2024.03.03(日) 2023.06.18(日) 2023.10.15(日) 2023.11.19(日) 2023.12.17(日) 2024.01.21(日) 2024.02.18(日) 2024.03.17(日)	会員登録説明会（於；グリーンアップセンター研修室・ コミュニティセンター集会室） 第59回 11組 + 10名（参加者 + 役員） 第60回 11組 + 10名（参加者 + 役員） 第61回 13組 + 10名（参加者 + 役員） 第62回 10組 + 10名（参加者 + 役員） 定期清掃 40名 終了後、場内整備及び役員会 定期清掃 雨天中止 定期清掃 35名 終了後、場内整備及び役員会 定期清掃 40名 終了後、場内整備及び役員会 定期清掃 雨天中止 ベテルギウスにて追加登録作業等 定期清掃 43名 終了後、場内整備及び役員会 定期清掃 67名

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和5年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 長年の課題であったルールやマナー問題、森林エリアの整備、施設や備品の整備等、会員の協力もあり、段階的ではありますが達成できています。 登録会への参加者も順調に増え、行事や会場整備等に協力的な会員も年々増えています。	(コメント) 草刈り等の会務への参加率やドッグラン利用時におけるルールやマナーについての不満の声が一部あったが、施設は綺麗に維持されており、行事等を通して会員相互の親睦を図ることができていました。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 定期清掃、草刈り等の行事は、多数の会員の協力のもと実施できました。 草刈りについては、日時や時間帯等、より多くの会員の意見を取り入れ実施できたと思います。 数年前に導入したSNSについては、利便性を上げるなど、会員への即時通知を可能にすることが出来ています。	(コメント) 会場の予約や会員登録説明会を予定どおり実施できました。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 草刈り時に必要な経費や施設の維持費は随時購入していますが、今期も軍手やゴミ袋、草刈りや定期清掃時の飲料水等、会員からの寄付も多数あり助かっています。 森林エリアの整備については、会員の協力のもと、再利用品が調達できました。	(コメント) 予算の範囲内で、事業が実施できました。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 今期は臨時総会の開催、ルールやマナー問題など、市役所との連携が密に取れて良かったと思います。 市役所は全体管理、結の会は実務と、担当部分をはっきりしているので、連携が取り易く動き易かったと思います。	(コメント) 市と結の会で役割が明確となっているので、スムーズに事業が実施できました。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
以前から意見が上がっていた項目について、諸々改善できたこと、また、森林エリアの整備に関しても会員の協力が得られ完成に近づいていること等、実りのある1年だったと思います。 今後も会員制の市民ドッグランとして、会員全員がより一層マナーの向上に努め、人にとっても犬にとっても心地よいドッグランにしていきたいと思います。	草刈り等の会務の参加率に偏りがあることや、トラブルがあった際の役員の対応が負担となっている点が課題となっています。 運営や利用方法について結の会と意見交換をしていきたいと思っています。

4. 地域で支え合う「のりあい」を走らせよう

事業名称	地域で支え合う「のりあい」を走らせよう	
事業者	地域と市との協働「のりあい」	
市担当課	街づくり総務課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	14年（令和5年度を含む）	
令和5年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 366,000円 市担当課の執行額（注2）： 46,384,000円 （内、バス事業者への委託費： 45,584,000円）	
事業の目的	交通の利便性を高め、地域公共交通の新たな創出、地域のコミュニケーションを作り、住み心地良い地域づくりを目指す。	
事業の内容	地域と市との協働により、支え合える移動手段を創出、運営と地域と地域住民のつながりを深め、福祉、防犯、交通安全等への意識を深める。	
令和5年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 （イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください）
	3月27日（通年） 4月7日（金） 4月8日（土） 4月10日（月） 4月19日（水） 4月23日（日） 4月23日（日） 4月28日（金） 4月30日（日） 5月10日（水） 5月13日（土） 5月22日（月） 5月23日（火） 5月27日（土） 5月28日（日） 5月29日（月） 6月1日（木） 6月11日（日） 6月17日（土） 6月1/19/24日 6月25日（日） 7月3/15/17/24 7月30日（日） 8月23日（水）	のりあいニュース No.154（4月号）毎月1回発行 街づくり総務課との打ち合わせ 3号公園～西鶴間コミセン間のルート清掃 いちよう並木～西鶴間8丁目間のルート清掃 鶴間駅～市立病院間のルート清掃 文化北～上草柳ロータリー間のルート清掃 西鶴間3号公園～西鶴間コミセン間のルート清掃 のりあい役員会（午後7時～9時） のりあい運営会議（午後2時～4時） 添乗打ち合わせ 3号公園～西鶴間コミセン間のルート清掃 いちよう並木～西鶴間8丁目間のルート清掃 街づくり総務課と打ち合わせ のりあい運営委員会 のりあい・ポラリス講演会参加 R4協働事業報告会（シリウス講習室） 西鶴間8丁目～南林間6丁目のルート清掃 のりあい交流会打ち合わせ（午後2時～3時） のりあい交流会（西鶴間コミセン 午後1時～3時） 運行ルートの清掃 のりあい運行会議 のりあいルート5か所の清掃 のりあい運営会議 街づくり総務課との打ち合わせ

	8月28日(月) 10月11日(水) 10月13日(金) 10月16日(月) 10月27日(金) 11月29日(水) 1月19日(金) 2月16日(金) 2月25日(日) 3月19日(火) 3月23日(土) 通 年	のりあい会計担当と打ち合わせ のりあい今後について打ち合わせ 他県からの視察対応 乗り残しについて、市との打ち合わせ(下期資料) のりあい役員会(鶴間コミセン) 街づくり総務課と打ち合わせ 今後について街づくり総務課と打ち合わせ 今後の運行等について、街づくり総務課と打ち合わせ 定例の運行会議 街づくり総務課との打ち合わせ のりあい役員会(令和6年度に向けて) 関係9自治会と関係強化、支援協力を図るため適時運行 状況等の情報提供、共有、理解を得る活動実施
	<p><令和5年度事業実績のまとめ></p> <p>(1) のりあいバス運行の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行事業：大和市より相鉄バス(株)への委託による運行 ・運行日数：366日(平日20便/日、休日12便/日) ・利用者数：30,500人(令和5年度概数) <p>(2) 添乗支援活動・・・有償ボランティア8人在数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日運行便に乗車して、主に高齢利用者への支援活動 ・年間添乗便数：1580便数 ・年間添乗者延べ人数：448人 <p>(3) 停留所を起点とした運行路上・周辺地域のクリーン活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月全員で、全停留所を起点に実施 ・クリーン活動参加総延べ人数：143人 <p>(4) 「のりあい」組織の議決・進め方、確認</p> <ol style="list-style-type: none"> ① のりあい役員会(のりあい推進事項の協議、最終承認) <ul style="list-style-type: none"> ・年2回開催 参加 延べ人数：32人 (自治会長18人、事務局14人) ② のりあい運営会議(運営上の基本事項の検討、協議) <ul style="list-style-type: none"> ・年3回開催 参加 延べ人数：21人 (自治会長9人、事務局12人) ③ 担当者会議(毎月の運行状況確認) <ul style="list-style-type: none"> ・年12回開催 参加 延べ人数：108人 ④ 地域交流会(利用者、市担当者、自治会、事務局との懇談・交流) <ul style="list-style-type: none"> ・6月17日開催 参加人数：68人 <p>(5) 街づくり総務課との検討、協議、確認実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1日発行の「のりあいニュース」の記事について、共に作成共有して地域に広報し、周知を実施している。 ・原則毎月「のりあい」運行状況、地域状況等を相互に確認し、必要により検討協議を実施している。 	

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和5年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) ・のりあいを利用し、外出の足となるツール、地域の人々の交流等、定期運行の継続で、実施できたことと感じます。 ・運行を担っていただいている相鉄バスは、地域をよく把握していただいている安全運行により、地域の方々の外出の継続、買物難民にならずに済むこと、知人との交流等、とても助かっていると痛感しています。 ・利用者の方々も、「のりあい」が定例運行されていることへの感謝の気持ちを持ってくださり、ありがとう等の言葉をよくお聞きします。地域の方々の交流の場の一つともなっています。	(コメント) ・新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せたことに加え、運行本数が増加したことで、利用者数が過去最高を超える見込みで推移しており、交通の利便性は高まっています。 ・添乗者の活動再開に伴い、地域のコミュニケーション作りも行われています。 ・一部地域で乗り残しが発生していることは課題と捉えています。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) ・便数増の工夫もしていただき、運行も安全を第一としての取組に、安心して移動できる事業になっていると感じています。 ・道路事情により、渋滞となり途中下車はできないルールの中でも、運転士の方からの声掛け、添乗の対応等で、安全運行を実施できていると判断しています。	(コメント) ・予定どおりに進められました。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか（計画性）

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・予算内での実施をしていますが、以前よりも車内での添乗の乗車割合を高くすることで、安全にご利用いただける環境の保持ができている実態があり、車内での半日対応の添乗に、活動支援の上乗せができればと願っていますが、地域での経費の生み出しは難しく、市の年間80万円での予算の増額を希望しています。 	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・家の建て替え等に伴いバス停を移動させる必要が生じるなど、不測の事態はありましたが、予算枠内で事業実施ができました。 ・今後のバス運転手の人件費の高騰等の課題もあるため、対応してまいります。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・市との協働事業なくしては、安全なりのあいの利用、地域内での交流等、広い意味での地域の安全を充実している点の保持等、難しいかと感じています。 ・地域の課題を共有し、事業活動資金について相互理解と分担で、事業達成の大切さと効果を確認しています。 	(コメント) <ul style="list-style-type: none"> ・事業の棲み分けができており、協働事業として実施することでスムーズな運営ができていると考えております。 ・活発な意見交換をすることで、意識の共有を行うことができています。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
<ul style="list-style-type: none"> ・乗降が不安定な方々への添乗支援対応が今後の課題です。 ・無償のボランティアでなく、一定の知識等を持ち、利用者への対応をすることへの活動費の対応の継続は、大切と考えています。 ・より充実されるようにと、市へも要望しています。 ・利用者増と「乗り残し」対策のため、増車による抜本的改善を継続して実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り残し対策が十分であるとは言い切れないため、コミバス等を含めた市内交通の見直しに合わせた新たな対策等について、引き続き検討が必要だと考えています。

5. 生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ「つま読み書きの部屋」

事業名称	生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ「つま読み書きの部屋」	
事業者	NPO法人 かながわ難民定住援助協会	
市担当課	国際・男女共同参画課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	14年（令和5年度を含む）	
令和5年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 10,000円 市担当課の執行額（注2）： 100,000円	
事業の目的	多文化共生社会の実現を目指して、同じ地域に住む日本人と外国人市民が相互理解を深めるとともに、外国人学習者の日本語読み書きのスキルアップと日本の生活・文化・習慣への理解を高めていく。	
事業の内容	上記の目的を達成するため次に掲げる事項を行う。 ① 日本語教室の開催 ② ボランティアスタッフの育成 ③ 成果物の作成とホームページ公開 ④ SNSを活用した教室活動の紹介	
令和5年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	R5/6/6	第1期資料検討会 スタッフ3名 市担当課1名
	R5/6/12~27	第1期教室（生涯学習センター） 受講生6名 スタッフ3名
	R5/8/8	屋外活動(ブルーベリー狩り) 学習者参加者5名 スタッフ1名
	R5/9/12~26	ボランティア研修講座（生涯学習センター） 受講生18名 スタッフ3名 市担当課1名
	R5/10/17	第2期資料検討会 スタッフ3名、市担当課1名
	R5/10/23~ 11/14	第2期教室（生涯学習センター） 受講生7名 スタッフ3名
	R6/3/13	第3期資料検討会 スタッフ3名、市担当課1名
	R6/2/19~3/4	第3期教室（生涯学習センター） 受講生が集まらず開催できず

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和5年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 第3期講座は申込がなく、開催できなかった。ベトナム人研修生(サイゼリア)の研修期間が終わって、帰国してしまい、昼クラスの受講生も確保できなかった。 前年度まで繰り返し受講していた学習者の教室への参加辞退が多かった。外国人市民も日本の社会情勢の影響があったのかと考えている。	(コメント) 第3期を除いては受講生も集まり、講座を実施することができ、日本人と外国人市民が相互理解を深めるとともに、日本語読み書きのスキルアップと日本の生活・文化・習慣への理解を高めるという目的が達成出来たと考える。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 第3期は開催できなかったが、他は予定通り開催できた。 ボランティア研修講座では、外部の講師を招いて講演ができて良かった。講座の受講者も前年度より多い18名で日本語教育に対する関心度が高くなっていると考えられた。 読んだり、書いたりを中心に教室を進めているが、ボランティア日本人スタッフが不足していて、書くタスクの手伝いをきめ細かくするのが難しかった。	(コメント) 外国人学習者への年間3期(1期毎昼夜各3回)の講座と、ボランティア講座1期(3回)の開催に向けて年間スケジュールを立て、3期の講座は開催できなかったが、ボランティア講座は担当課も講義を行うなど、予定通りに実施することができた。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 事業は予算内で実施できた。	(コメント) 事業は予算内で実施できた。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 講座会場の確保や使用する機材の手配、受講者募集などを担っていただき、教室の運営に集中できた。	(コメント) 事業者と密に連絡を取り合い、講座の円滑な運営を行うことが出来た。今後も連携をしっかりと行うことで、市と事業者との協働による相乗効果を高めていきたい。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
「広報やまと」に講座開催のお知らせを載せていただいているが、第3期講座では申込がなかったため、より広い外国籍の方々への教室の告知を目指したい。 英語でのお知らせの作成、メールやファックスでの申込を英語でもできるようにしたい。 また、教室案内のチラシをエスニック料理店など外国籍の人が集まりそうな場所に置かせてもらえるようにしたい。 日本人スタッフの減少や高齢化は進んでいるが、ボランティア研修講座に参加して、その後、講座の見学に参加してくれる受講生が何人かいるので、その方々がスタッフとして残ってくれるように努力する。	今後は講座の周知を今まで以上に広く行うことで、さらに受講生を増やして、盛り上げていくことが課題である。 市としても、申込の方法等見直しを行い、WEB上からの参加申し込みも可能にする等工夫をしていきたい。 日本人スタッフの減少や高齢化は進んでいるが、ボランティア研修講座には多くの方が参加してくださっており、さらにその後の講座にも見学に来てくださっている方々もいるため、スタッフとして残っていただけるよう、支援を行っていきたい。

6. 地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業

事業名称	地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業	
事業者	渋谷きんりん未来の会	
市担当課	図書・学び交流課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	21年（令和5年度を含む）	
令和5年度 決算予定	事業者の負担額（注1）：	32,411円
	市担当課の執行額（注2）：	5,096,262円
事業の目的	新しい公共の創造に寄与することを基本とし、地域住民の生涯学習を推進し、交流できる居場所として渋谷中学校との連携のもと、活力ある住みよい地域となることを目的とする	
事業の内容	<p>1) 会議室、特別教室の市民への貸し出しなどを通じた市民活動の活性化事業</p> <p>2) 地域ニーズに基づいた生涯学習の推進支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の生涯学習の推進、交流の場となる活動の支援 <p>3) 下和田地区の児童館機能、子どもや保育者・中高生・一般などの居場所としての事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人々の憩いの場、学びの場として日々充実した活動ができる場を提供 ・ 閉校した下和田小学校の思い出を伝え、交流できる場の提供 <p>4) 伝統文化・国際交流・環境配慮等に関するイベントの企画等</p> <ul style="list-style-type: none"> ①日本の伝統文化を伝えるため、地域の方の協力のもとに事業を実施 ②地域に生きる外国籍の方々との協力を基本として活動を推進 ③地域の方との協力や学校との連携の中で環境美化やリサイクル工作、グリーンカーテン作りなどを実施 <p>5) 情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HP や地域回覧用の広報誌や小学生向けのお知らせなどを作成し情報発信 ・ いちよう団地への下和田の郷通信翻訳版の配布 	
令和5年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
		別紙のとおり

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和5年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) コロナ禍のような不規則の休館が無くなったことからか、子どもたちの来館も増え、人手が足りないと感じることもある程だった。	(コメント) 令和5年5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、来館者数が増加した。 年間を通してウクレレ教室やPCなんでも相談室、おたのしみ工作など、様々な講座を実施し、学校の生徒や地域住民の生涯学習を推進することができた。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 担当課からの紹介で「藤を使った作品作り」や「四季学祭」にて工作などの事業も行えた。	(コメント) 広報やまと、下和田の郷通信(多言語版への翻訳を含む)、ホームページを通して事業の周知を行い、概ね事業を実施することができた。 しかし、「大掃除」や「おしろこつくり」など新型コロナウイルスの影響で中止した事業もあった。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 当初予定していたスケジュール通りに事業が進み予算の範囲内で無事実施できた。	(コメント) 予算の範囲内で実施することができた。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 広報の翻訳を手配していただいたことや、担当課を通じて新しく講師の方を紹介いただくなど、新しい事業を始めやすく助かっている。渋谷中学校や自治会の方々との協議など担当課の調整によりスムーズに行うことが出来た。	(コメント) 下和田の郷が発行している「下和田の郷通信」の翻訳を手配し、中国語版とベトナム語版の発行を行うことができた。 市の生涯学習ねっとわあくに登録しているボランティア講師を紹介することにより、「藤を使った作品作り」のような新規事業の実施に繋げることができた。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
市の広報やまとの文化情報館が無くなることで、事業の参加者を市内全域から募るのが難しくなる。 地域への事業開催の知らせをどのように展開していくかが課題。 災害時の避難所になる可能性もありその際の対応など、再度確認しておく必要性を感じている。	新型コロナウイルスが第5類に移行し、来館者数がより増加することが考えられる。 また、新型コロナウイルスの影響で中止した「大掃除」や「おしろこづくり」などの事業についても令和6年度は行える可能性がある。 引き続き利用者の安全を考慮しながら施設運営や事業の実施に努めてもらいたい。 来館者数の増加等に対応するため、令和6年度は市の負担金を増額し、平日一人体制を二人体制に変更できるようにする。

2023年度事業実施状況

自主事業

対象	事業名	曜日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施内容	回数	人数	
主に小学生	ディスプレイ	不定期	2日		24日 28日	1日 9日					2日 17日				季節にあわせた飾り付けを利用者と共に行う（七夕飾りやクリスマス飾り等）	18	104	
	アレンジフラワー	土				23日					17日				花を使って自由に表現するアレンジフラワー	2	16	
	デジタルクラフト	日	毎週日曜日												PCを使った制作通じPC使い方や遊び方を学ぶ（ペーパークラフトなど）	41	219	
	マスコット帽子	土				29日										簾で編むマスコット帽子作り	1	8
	かんたん工作	不定期	19日 26日	3日 21日	4日 24日											季節に合わせてかんたんな工作	21	47
	カレンダー作り	不定期					2日 15日	6日 17日	1日 7日	21日 25日	2日 3日	6日 31日	4日 28日	9日 31日	子ども達と一緒に翌月のカレンダーを作成し、フリースペースを飾りつける	39	165	
	かき氷	日		7日		22日 29日	5日 26日								スタッフと一緒にかき氷を作って食べる	7	78	
小中・一般	スクリーンを使って	日	毎週日曜日												子どもとスタッフの協力による映画上映会	40	265	
	四季学祭	火				1日									シリウスにて行う市民交流イベント	1	119	
一般	布わらじ作り	木・金			22日 23日										スタッフが講師となり不要になった布を再利用したわらじ作りを行う	2	20	

共催事業

対象	事業名	曜日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施内容	回数	人数
主に小学生	切り絵あそび	土							7日						地域の人と参加者との切り絵を通じた交流の場	1	14
	おたのしみ工作	日				2日			15日		3日		4日		季節に合わせて材料や作品作りを通して、道具の扱い方なども学ぶ	4	40
	書初め教室	木										4日			新年の書初めを行い落着きと集中力を養う	1	2
一般	男の料理教室	日			25日		27日			12日		28日			成人男性が一人でも栄養のバランスのとれた食事が作れるような料理講習会	4	35
	押し花	火			13日					14日					利用団体の方が講師となり、参加者が一緒に押し花を通じて交流を図る場	2	14
	ウクレレ教室	月(毎週)	4月-6月毎週(月)全10回												ウクレレ演奏を通じて音楽や楽器を楽しむ	10	76
	PCなんでも相談室	第3(木)	20日	18日	15日	20日	24日	21日	19日	16日	14日	18日	15日	14日	市民や利用団体のPCスキルの向上	12	66
	書道教室	木										4日			写経を通じ集中力や手先の感覚を鍛える	1	4
	日本舞踊体験	日						24日							日本文化を知ってもらう「ちょこっと」日本舞踊体験	1	35
	健康普及	水													健康普及委員による、老化防止体操など	0	0
	織り輪	火							31日						麻ヒモでの織物や裂き織り体験	1	7
	さき織り体験	火			27日										不要になった布を最後まで使い切るエコな教室	1	8
	ポルトガル刺繍	木						28日							ポルトガル地方発祥の毛糸を使った刺繍、手先の運動と、参加者の交流の場	1	6
スープ作り	日											中止		体に良いスープ作り			
フラダンス教室	木(毎週)								3日 10日 17日					音楽にあわせて体を動かし、地域の人とフラを通じての交流の場	3	3	

支援事業

対象	事業名	曜日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施内容	回数	人数
中学生	サタデー・チャレンジルーム	土	毎週土曜日												渋谷中学校の先生が行っている生徒への学習支援	40	129

7. 移動制約者の外出介助サービス事業

事業名称	移動制約者の外出介助サービス事業	
事業者	特定非営利活動法人 ワークス・コレクティブ ケアびーくる	
市担当課	障がい福祉課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	20年（令和5年度を含む）	
令和5年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 14,000,000円 市担当課の執行額（注2）： 177,776円	
事業の目的	ひとりでは公共の交通機関を使えない障がい児者や高齢者などの移動制約者が、外出時の困難や不安を解消し、社会参加の促進が図られることを目的とする。	
事業の内容	福祉有償運送の位置づけ。主に車を使い、会員制、予約制で様々な要望に応じて介助付きの移動サービスを実施。通院や入退院、通所、ショートステイ、買物、墓参など。必要に応じて、ベッドtoベッド、車椅子に乗ったままの段階の乗降（複数人で対応）などにも対応。 会所有：福祉車両4台（リフト式3台、スロープ式1台）、ストレッチャー、フルリクライニング車いす、車いす（5台）、段差用スロープなど 登録セダン：13台、活動メンバー：28人（内、運転会員21人）	
令和5年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 （イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください）
	通年	利用会員（移動制約のある高齢者や障がいのある方々）に、主に車を使って介助付き移動サービスを実施しました。 昨年度からの継続利用会員：231名 今年度の新規利用会員：145名 計：376名 利用回数：6,604回 利用者延べ人数：4,266人 （通院等 4,319回、通所等 700回、その他 1,585回） 年中無休で電話番を配置。毎日メールで予定表を確認。メール、LINEなども活用しながらメンバー間での意思疎通を図り、毎月、定例会・理事会を開催し、課題解決などを図りました。 福祉車両の定期点検・車検・修理。冬タイヤ装着。 必要に応じて講習の受講、内部研修を実施しました。 （安全運転管理者講習、運転技能研修など）
	4月26日	黄色いレシートキャンペーンカード受取り
	4月27日	福祉車両2台 冬タイヤから履き替え
	4月27日	ハイエース貫い事故、修理

5月12日	ハイエースワイパーブレード交換
5月21日	第26回通常総会
5月29日	日揮福祉財団助成金申請（フルリク購入費として）
5月29日	大和市協働事業報告会 参加（2名）
5月31日	輸送実績報告書提出（街づくり総務課）
6月14日	運転技能研修
6月25日	運行担当者会議
7月11日	車両保険更新手続き
7月9日	認定運転者講習会受講（新人メンバー）
7月21日	地域公共交通協議会幹事会 出席
7月22日	学習会参加「断らない相談支援（座間市）はたらつく・ ざまの事例から」（3名）
7月31日	大和市福祉有償運送運営協議会 出席
8月4日	プロジェクトチーム打合せ
8月12日	フルリクライニング車いす入荷
8月17日	研修 ストレッチャー扱い方
8月26日	認定運転者講習会 講師派遣
9月2～16日	福祉車両4台、それぞれの6ヵ月点検
9月6日	料金改定のお知らせ発送
9月12日	民間の福祉車両助成事業申請
10月2～31日	新人（2名）の同乗研修
10月4日	共同募金協力（街頭募金は自粛）
10月31日	大和市障がい福祉施設等物価高騰対策支援金申請
11月12日	講習会受講「車いすで車両乗車」の危険「体験！姿勢で 変わる安全リスク」（2名）
11月20日	消費税中間申告・納税
11月23日	県央わくわくワークフェスタ参加
11月28日	ライフフリー助成中間報告
12月6日	共同募金協力（街頭募金は自粛）
12月14日	N-BOX 冬タイヤに履き替え
12月25日	福祉車両3台の駐車禁止除外指定更新手続き
1月10日	黄色いシートキャンペーン報告書等提出
1月、2月、3月	福祉車両4台、それぞれの車検
1月18日	学習会参加「W.Coとは」（2名）
1月21日	大和市障がい福祉施設等物価高騰対策支援金申請（下期）
1月24日	大和市地域公共交通協議会 出席
2月27日	大和市福祉有償運送運営協議会 出席
3月1日	『ケアびーくる通信 第15号』発行

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 — 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和5年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5:できた 4:ややできた 3:どちらでもない 2:ややできなかった 1:できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 移動制約者の社会参加促進を目的とするという共通認識をもったうえで、事業を遂行することができました。20年来の継続の利用がある一方、毎月10名以上の新規利用の入会が続きました。この活動が必要とされていることを実感します。今年度も多くの利用者や家族から感謝の言葉を頂きながら、また、それ以上にこちらが元気をいただきながら、活動を続けられました。	(コメント) 感染症の拡大が終息に向かう中で、続けて物価上昇・価格高騰により大変厳しい運営環境となっていますが、事業者の運営努力により、新規会員の獲得や、継続会員へのケアなど、この事業のサービスを必要とする移動制約者(高齢者・障がい者等)の方々に対し、長年の活動から培ったノウハウを活かして、事業を遂行することができました。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 関係部署・事業者・ご家族との連絡を密に取り、きめ細やかな、利用者に寄り添ったサービスが提供できたと考えます。 運転メンバー、運行管理者、事務局も歳を重ねています。新たな運転メンバーの参加が4人ありましたが、専任で常時携われる担い手の不足は恒常化しており、このままでは本会の活動の継続が危ぶまれます。 メンバーの拡充が喫緊の課題です。このため今年度頂いた、ライフフリー助成を生かし、基盤整備に特化したプロジェクトを立ち上げ、検討・対策を進めています。	(コメント) 令和2年度から続くコロナ禍の影響を受けて、利用者が様々な不安を抱えており、それらからくる定期通院などの外出習慣が途絶えがちになっています。しかしながら、移動制約者の行動インフラの確保は非常にニーズの高い事業であり、ケアびーくるを始め、福祉車両サービス各事業者は非常に公共性の高い役割を担っております。事業者は個々の利用者の状況をきめ細かく把握し、この事業を必要とする方々に対して、必要なサービスを提供し事業の実施・継続することに努めていただきました。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか（計画性）

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) インボイス制度への対応などもあり、料金の改定を行い、10月1日からは利用料金を外税にしています。現場での混乱もなく進めることができました。 民間の助成制度に応募し、長年使用していたフルクライニング車いすを更新しました。 物価高騰および燃料費高騰に伴う、市の支援給付金に応募し、受給しました。 概ね予算内での活動ができました。	(コメント) 市は事業者に対して、車両維持のための負担金を支出していますが、コロナ禍においては効率面の低下による経費の増加もありました。さらに追い打ちをかけるように、近年の物価高騰・価格上昇により、収支面において非常に厳しい状況下にあります。感染症終息による利用者の増加など社会環境の変化や、運営面での事業者の努力を期待しております。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 市から駐車場と備品の保管場所の提供を受けていることは、会の経営・運営・社会的信用上、不可欠です。 市内で開催された認定運転者講習会の受講終了者の加入も3名ありました。 料金改定に際しては担当部署に多大なご尽力をいただきました。感謝いたします。	(コメント) 広報やまことや障がい福祉課ホームページ、窓口で配布している「障がい福祉のてびき」にも案内を掲載し周知に努めています。事業者と行政それぞれが役割を果たしました。 また、疑義が生じた際にも、事業者と市が連絡を取り合うことで、課題の共有を図り、安定した事業が展開されました。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
経過等にも記載しているように新規利用入会は145人、月平均にすると約10人にのぼっています。ここ数年続いている傾向です。 重ねて記述しますが、メンバーの拡充が喫緊の課題です。 予てから要望していた市主催の運転者講習会が来年度は実現するとのこと。感謝するとともに、メンバー拡充に結び付くよう切に望んでいますが、受講者の確保は課題です。市の広報紙での扱いが画一的な場合は先細りになった他市の事例があります。この6年毎回20人以上の受講者を確保している秦野市の事例(介護保険料決定通知書等にお知らせを同封)等の周知対策が重要です。 引きつづき福祉有償運送を協働事業で実施する意味と必要性を勧案し、市との連携・理解がより深まることを望みます。	利用者とともに、事業者の構成メンバーも高齢化しており、世代交代や新規のメンバーの確保が急務であることは、本事業を提案いただいている3法人ともに共通の課題であります。市担当課として、法人の活動を、より多くの市民へ理解を頂き知っていただくためにも、より一層の周知に努めていきます。 また、事業の担い手不足に関連する課題については、本課を含め関係部署と連携を図り、運転者講習会を端緒として、メンバーの拡充についての支援を考えてまいります。

8. 移動制約者の外出介助サービス事業

事業名称	移動制約者の外出介助サービス事業	
事業者	特定非営利活動法人 大和市腎友会	
市担当課	障がい福祉課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	20年（令和5年度を含む）	
令和5年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 3,045,580円 市担当課の執行額（注2）： 177,776円	
事業の目的	身体障がい者・高齢者などの移動困難者が、外出時の困難や不安を解消し、社会参加の促進が図れることを目的とする。	
事業の内容	福祉有償運送事業者として、福祉車両と自家用車でサービスを促進。対象者は、介助なしでは、移動が困難な方で単独で公共交通機関の利用が困難な方のお手伝い。	
令和5年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	2023/1 2023/5	大和市防災とボランティア展に参加する コロナ感染が弱まり、大幅に行動制限がなくなりましたので、バーベキューの開催を試みました。
	2023/5	令和4年度協働事業・市民活動推進補助金事業報告会で発表する。
	2023/年間	個別送迎を担当している、山桜会は、買物・旅行・お墓参り・食事会等の送迎にも力を入れて推進した。
	2023/10 2023/10	赤い羽根共同募金を街頭で対応した。(3名) 消費税の軽減税率制度に対応した。

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和5年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5：できた 4：ややできた 3：どちらでもない 2：ややできなかった 1：できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 山桜会は、身体障がい者や要介護者の利用者さんが、安心して通院できるよう、利用者さんに寄り添ったサービスをしています。 特に、乗降時には、キメ細かい介助ができました。	(コメント) 感染症の拡大が終息に向かう中で、続けて物価上昇・価格高騰により大変厳しい運営環境となっておりますが、この事業のサービスを必要とする移動制約者(高齢者・障がい者等)の方々に対し必要な対策を取ったうえで、長年の活動から培ったノウハウを活かして、事業を遂行することができました。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) コロナ感染が弱まり、移動制限がなくなりましたが、利用者さんにはマスクの着用と会話を控えるために、ご協力をいただきました。 ドライバーには、車内の換気等に注意するように指導しました。	(コメント) 令和2年度から続くコロナ禍の影響を受けて、利用者が様々な不安を抱えており、それらからくる定期通院などの外出習慣が途絶えがちになっています。しかしながら、欠かさず通院しなければ生命にかかわる方など、事業者は個々の利用者の状況をきめ細かく把握し、この事業を必要とするの方々に対して、必要なサービスを提供し事業の実施・継続することに努めていただきました。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) 5・4・③・2・1	(採点) 5・4・③・2・1
(コメント) 今期は、送迎料金の改定はできましたが、全体的に物価・人件費の高騰があり、もう一度料金の見直しが必須です。	(コメント) 市は事業者に対して、車両維持のための負担金を支出していますが、コロナ禍においては効率面の低下による経費の増加もありました。さらに追い打ちをかけるように、近年の物価高騰・価格上昇により、収支面において非常に厳しい状況下にあります。感染症終息による利用者の増加など社会環境の変化や、運営面での事業者の努力を期待しております。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか（※コメント欄に記入ください）

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 協働事業の報告会で、他の団体の報告を聞いて、様々な協働のあり方を知り、担い手や人材の不足等、どの団体にも共通して見られた課題もあり、自分たちの活動を改善するヒントがありました。	(コメント) 広報やまや障がい福祉課ホームページ、窓口で配布している「障がい福祉のてびき」にも案内を掲載し周知に努めています。事業者と行政それぞれが役割を果たしました。また、疑義が生じた際にも、事業者と市が連絡を取り合うことで、課題の共有を図り、安定した事業が展開されました。

今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
山桜会として、車両とドライバーを増やし、多くの利用者さんに安心して、利用していただけるように、検討してまいります。	利用者とともに、事業者の構成メンバーも高齢化しており、世代交代や新規のメンバーの確保が急務であることは、本事業を提案いただいている3法人ともに共通の課題であります。市担当課として、法人の活動を、より多くの市民へ理解を頂き知っていただくためにも、より一層の周知に努めていきます。また、事業の担い手不足に関連する課題については、本課を含め関係部署と連携を図り、運転者講習会を端緒として、メンバーの拡充についての支援を考えてまいります。

9. 移動制約者の外出介助サービス事業

事業名称	移動制約者の外出介助サービス事業	
事業者	特定非営利活動法人 たんぽぽ	
市担当課	障がい福祉課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	17年（令和5年度を含む）	
令和5年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 1,700,000円 市担当課の執行額（注2）： 44,444円	
事業の目的	○外出困難者への介助支援 ・障がい者・高齢者の移動制約者が外出の際の困難や不安感を軽減し安心して社会参加の促進がはかれることを目的とする。	
事業の内容	○特定営利活動有償移動サービス ・介助付きの外出サービス事業を安定して提供すること。	
令和5年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	令和5年4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎実績550件程度 ・スタッフ10名 ・定例会（毎月月末開催） ・総会（年1回） <p>障がい者・高齢者など、一人では外出できない移動困難者の方々に、外出する機会を得て頂きたいと考え、これまで事業を実施してまいりました。</p> <p>我々の事業は、通常の公共交通機関の利用が難しい方たちの貴重な移動手段として意義ある活動と認識しております。</p> <p>※現在運転会員6名で実施しています。 稼働状況は、コロナ禍、インフルエンザ等における影響により、病院、介護施設など、限られた範囲であり、未だ自粛を強く感じます。</p>
	令和5年9月10日	新料金改正説明会実施

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和5年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5：できた 4：ややできた 3：どちらでもない 2：ややできなかった 1：できなかった)

・目的を達成することができましたか（目標設定）

事業者	市担当課
(採点) 5・4・③・2・1	(採点) 5・4・③・2・1
(コメント) コロナ禍による感染拡大において、残念ながら新規利用者の増員が見込まれませんでした。	(コメント) 感染症の拡大が終息に向かう中、つぎは物価上昇・価格高騰により大変厳しい運営環境となっていますが、この事業のサービスを必要とする移動制約者（高齢者・障がい者等）の方々に対し必要な対策を取ったうえで、事業を遂行することができました。

・予定した方法により事業が実施できましたか（実施手法）

事業者	市担当課
(採点) 5・4・③・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 利用者の減少により収益が見込めず例年より減収減益となる見込みだが、利用者にとって安全で安心した外出サービスを提供できました。	(コメント) 令和2年度から続くコロナ禍の影響を受けて、利用者が様々な不安を抱えており、それらからくる定期通院などの外出習慣が途絶えがちになっています。事業者は個々の利用者の状況をきめ細かく把握し、この事業を必要とするの方々に対して、必要なサービスを提供し事業の実施・継続することに努めていただきました。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか（計画性）

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 燃料費の高騰および車両の維持管理による負担が増大していますが、収益減少を見込み事業規模を再考しつつ、事業を継続することができました。	(コメント) 市は事業者に対して、車両維持のための負担金を支出していますが、コロナ禍においては効率面の低下による経費の増加もありました。さらに追い打ちをかけるように、近年の物価高騰・価格上昇により、収支面において非常に厳しい状況下にあります。感染症終息による利用者の増加など社会環境の変化や、運営面での事業者の努力を期待しております。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
<p>(コメント)</p> <p>1. 福祉車両券、タクシー券による利用者、及び事業者にとって、資金への援助と成っています。</p> <p>2. 一部の車両重量税、駐車場の提供おおいに助かっております。</p> <p>今後も事業者と行政が共通の目的意識をもつことで円滑に事業を遂行できるよう努力しました。</p>	<p>(コメント)</p> <p>広報やまことや障がい福祉課ホームページ、窓口で配布している「障がい福祉のてびき」にも案内を掲載し周知に努めています。事業者と行政それぞれが役割を果たしました。</p> <p>また、疑義が生じた際にも、事業者と市が連絡を取り合うことで、課題の共有を図り、安定した事業が展開されました。</p>

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
<p>高齢化に伴い、若返りを図る必要があり、魅力ある組織作りが望む所です。</p> <p>改善のポイントとしては、ドライバーや介助要員の確保のため報酬の見直し、それを実現する運賃改定が検討課題として挙げられます。</p> <p>（運賃改定については、R5.10月に実施しました。）</p>	<p>利用者とともに、事業者の構成メンバーも高齢化しており、世代交代や新規のメンバーの確保が急務であることは、本事業を提案いただいている3法人ともに共通の課題であります。市担当課として、法人の活動を、より多くの市民へ理解を頂き知っていただくためにも、より一層の周知に努めていきます。</p> <p>また、事業の担い手不足に関連する課題については、本課を含め関係部署と連携を図り、運転者講習会を端緒として、メンバーの拡充についての支援を考えてまいります。</p>

10. みんなでつくろう安心のまち事業

事業名称	みんなで作ろう安心のまち事業	
事業者	大和女性防犯会	
市担当課	生活あんしん課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	14年（令和5年度を含む）	
令和5年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 9,289円 市担当課の執行額（注2）： 532,000円	
事業の目的	防犯啓発や犯罪教育を協働事業者と協働で実施することにより、犯罪認知件数の減少を目指し、安心して暮らせるまちをつくることを目的とする。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> （1）防犯キャンペーン及びパトロールの実施 （2）防犯に関する座談会及び講演会の開催 （3）防犯広報資料の作成及び配布 （4）子どもの見守り活動、防犯教室の開催 （5）高齢者の被害防止活動と指導 （6）その他の防犯活動への参加と情報の交換 	
令和5年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	2023.04.10(月)	防犯の日キャンペーン 啓発人数：150人、スタッフ：12人
	2023.04.14(金)	年金支給日振り込め詐欺撲滅キャンペーン 啓発人数：200人、スタッフ：14人
	2023.04.28(金)	歓楽街（大和駅周辺）パトロール 啓発人数：200人、スタッフ：13人
	2023.05.13(土) 05.14(日)	大和市民まつり防犯キャンペーン 啓発人数：1500人、スタッフ：13人
	2023.05.26(金)	歓楽街（大和駅周辺）パトロール 啓発人数：200人、スタッフ：13人
	2023.06.09(金)	ロックの日防犯キャンペーン 啓発人数：200人、スタッフ：11人

2023.07.04 (火)	振り込め詐欺撲滅キャンペーン 啓発人数：300人、スタッフ：12人
2023.07.10 (月)	防犯の日キャンペーン 啓発人数：200人、スタッフ：14人
2023.10.11 (水)	安全安心まちづくり旬間 パトロール出発式 一日警察署長キャンペーン 啓発人数：500人、スタッフ：12人
2023.10.13 (金)	振り込め詐欺撲滅キャンペーン 一日警察署長キャンペーン 啓発人数：500人、スタッフ：13人
2023.10.27 (金)	歓楽街（大和駅周辺）パトロール 啓発人数：200人、スタッフ：15人
2023.11.10 (金)	防犯の日キャンペーン 啓発人数：200人、スタッフ：11人
2023.11.17 (金)	イルミネーション点灯式、防犯キャンペーン 一日警察署長キャンペーン 啓発人数：500人、スタッフ：11人
2023.11.27 (月)	交番の日防犯キャンペーン 啓発人数：200人、スタッフ：19人
2023.12.22 (金)	歓楽街（大和駅周辺）パトロール 啓発人数：200人、スタッフ：13人
2024.01.26 (金)	歓楽街（大和駅周辺）パトロール 啓発人数：200人、スタッフ：13人
2024.02.20 (火)	女性防犯会 研修（県警本部、海上保安資料館） スタッフ：17人

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和5年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5：できた 4：ややできた 3：どちらでもない 2：ややできなかった 1：できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 刑法犯認知件数は、前年に比べ増加しましたが、防犯キャンペーンや夜間の歓楽街パトロール等を積極的に実施しました。 コロナ禍の終息により駅周辺に人流が増えたことから、多くの市民の皆さまに広く防犯に関するキャンペーン等の活動が実施でき、市民の皆さまの防犯意識の向上に少なからず寄与しているものと認識しています。	(コメント) 残念ながら、本市の刑法犯認知件数は昨年より増加してしまいましたが、コロナ禍の終息により、駅周辺の賑わいが戻りつつある中での啓発活動やパトロールは、犯罪の抑止、市民の防犯意識、体感治安向上の一助となっていると思われることから、協働事業の目的は概ね達成されていると考えます。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 実施を予定していたキャンペーンやパトロール、見守り活動などについては、予定した方法により概ね実施することができましたが、協働事業の目的を達成できるように、より効率的で効果的な啓発手法について検討が必要と捉えています。	(コメント) 啓発活動やパトロールを悪天候により、実施できない日もありましたが、概ね実施することができました。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか(計画性)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 当初購入を予定していたキャンペーン等の際に配布する啓発物品の一部値上げもありましたが、在庫などを活用し概ね予算内での活動ができました。	(コメント) 予算の範囲内で、啓発活動等を実施することができました。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
<p>(コメント)</p> <p>協働事業に参画することで、市を通じて他団体との交流も生まれ、防犯活動の活性化や会員個人の活動のモチベーション維持に繋がっていると感じています。</p> <p>また、市と警察と連携することで、刑法犯の発生状況や防犯に関する新たな知識が得られることで、女性防犯会独自で実施する啓発活動にも活かせ、結果として効果的な啓発活動の実施に繋がっているものと認識しています。</p>	<p>(コメント)</p> <p>協働事業者の会員でもある地域の方と一緒に防犯啓発活動の実施方法や夜間の見守り活動を協働で企画し、実施していくことは、市民の防犯意識、体感治安の向上に大きく寄与する重要な取り組みであると捉えています。</p>

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
<p>刑法犯認知件数を減少させるためには、これといった特効薬はありませんが、私たちが継続的に実施している啓発活動やパトロールは、時間がかかるかもしれませんが、徐々に効果が現れてくるものと考えています。</p> <p>私たちの活動は、市の協働事業に参画することで、活動意義も高まり、また、大和警察署や他の防犯関係団体と連携することで、活動の効果も高まると考えています。</p> <p>コロナ禍が終息し、駅周辺や公園などに賑わいが戻りつつあり、刑法犯認知件数も増加しつつある今だからこそ、活動を充実させていく必要があると思っています。</p> <p>このことから、より効果的な防犯啓発とパトロールの手法について検討が必要であり、また、地域の方に働きかけ、女性防犯会員の増加に努め、防犯の輪を大きくしていくことも重要な取り組みの一つであると考えています。</p>	<p>駅周辺や公園などに賑わいが戻りつつあり、刑法犯認知件数も増加していることから、より市民に注意喚起できる防犯啓発活動等の手法について、検討が必要です。</p> <p>また、今後も継続的に防犯活動等を協働で実施していくことは、有意義であることから、協働事業者の会員増加に向けた積極的な取り組みを期待します。</p>

11. 大和市民活動センターの管理運営

事業名称	大和市民活動センターの管理運営	
事業者	拠点やまと	
市担当課	市民活動課	
提案分類	市民提案型 ・ 行政提案型	
協働事業 経過年数	19年（令和5年度を含む）	
令和5年度 決算予定	事業者の負担額（注1）： 2,753,396円 市担当課の執行額（注2）： 6,696,000円	
事業の目的	活動団体の居場所としての市民活動ブース「部室」や市民交流スペースを活用して、活動の支援や様々な市民の交流を推し進める。	
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民活動に関する支援として情報の収集と提供を行う。 2. 市民活動センターに集う人や団体の交流を図る。 3. 中高生やシニア世代などのボランティア活動コーディネート。 4. 市民活動団体と行政の協働の為、市民目線のアドバイスを行う。 5. 市民活動ブース「部室」を含むセンターの管理運営を行う。 	
令和5年度 事業実施の経過	実施日時	実施内容 (イベント参加者数、スタッフ人数も概算でご記入ください)
	通年	管理受付業務 市民活動センター 市民活動ブース「部室」 会議室 市民活動支援 相談・情報送受信・電子掲示・動画案内 活動維持業務 ホームページ 金銭出納帳・収支チェック 業務日誌
	毎週	収支報告
	隔週	「FMやまと」～やまとっこ☆みつけた～
	毎月	広報紙「あの手この手」 ニュースレター（メール発信） 来館者数・活用状況報告・ 情報共有（拠点やまと会議・スタッフ会議）
イベント（適宜）	共育（ともいく）セミナー 中高生ボランティア活動「このゆびとまれっ！」 ベテルギウスまつり「カッコフェスタ」	

		<<指数数字>> (昨年度) ・市民活動登録団体数 142 団体 (168) ・会議室使用回数 1,084 回 (1,111) ・会議室利用人数 6,812 人 (6,612) ・部室活動回数 1,288 回 (1,266) ・市民交流スペース使用人数(概数) 14,388 人 (3,463)
--	--	--

(注1)：事業者の負担額 = 協働事業にかかった全費用 - 市負担金

(注2)：市担当課の執行額 = 市負担金 + その他協働事業に要した費用

◆令和5年度の協働事業をふりかえり、自己採点し、コメントを記入してください。

(5：できた 4：ややできた 3：どちらでもない 2：ややできなかった 1：できなかった)

・目的を達成することができましたか(目標設定)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 目先の忙しさで、中期企画や年間詳細計画を年初に立てられない状態だが、逆に短期で行事をやり遂げる体制は出来ている。 登録団体や外部団体との交渉や話し合いの機会も増え、市内に留まらず、活動にも広がりが生まれてきた。	(コメント) 市民活動に関する相談者に対し、事業者から「市民目線」でのアドバイスをしていました。 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行されたことに伴い、市民活動ブース「部室」や市民交流スペースの利用制限が解除され、市民活動センターの本来あるべき活動を積極的に実施していました。

・予定した方法により事業が実施できましたか(実施手法)

事業者	市担当課
(採点) 5・④・3・2・1	(採点) ⑤・4・3・2・1
(コメント) 従来の“外注なし”・“自分達でやる”を今期も行い、出費を削ると共にスキルの向上も図った。コロナ禍で経験したリモート業務、ZOOM交信やハイブリッド会議など役立つものは引き続き業務に取り入れるようになった。	(コメント) 事業者に新たなスタッフも加わり、それぞれのスキルに着目した業務分担をしていました。昨年度に引き続き、ZOOMを活用した在宅勤務や会議出席など、電子媒体を活用する工夫をしていました。また、中高生ボランティア活動「このゆびとまれっ！」や共育セミナー、カッコーフェスタのリアル開催など、事業実施していました。

・当初の予算のなかで、事業が実施できましたか（計画性）

事業者	市担当課
(採点) ⑤・4・3・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 会計科目・項目間でのやり繰りが多くあったが業務遂行には支障のない実績報告ができた。 新人やりモート業務の人達も含め、皆で仕事を調整しながら業務をこなした。 全体では調整できたものの、人件費が大きく予算オーバーになったが克服できた。やはりプログラム化による単純作業や繰り返しの多いルーチンワークを減らした事や仕事の効率化が功を奏した。	(コメント) 管理費及び最低賃金の上昇に伴う人件費の増加等により、厳しい状況ではありましたが、調整や見直し等、効率的に業務を遂行するための工夫をし、概ね予算どおり事業を実施することができました。

★協働による相乗効果がありましたか（協働の効果）、また、協働事業による実施のどのような点がよかったですか

事業者	市担当課
(採点) 5・4・③・2・1	(採点) 5・④・3・2・1
(コメント) 協働として 双方の特徴、利点活用を意識して業務遂行をしている。 協働の意味合いが年と共にずれて来て当初の“企画会議”“合同セミナー”“システム導入”などは無くなり、お互いのワークロード解消が主となってきている。 “市民相談”となれる経験ある市民活動センタースタッフの減少も一因と思う。	(コメント) 市民活動やボランティアの活動希望者等に対して、事業者は市民目線のアドバイスを、市民活動課は他課や関係団体への橋渡しや情報提供を行うなど、協働により互いの強みを生かした事業運営を行うことができました。 事業実施のための必要な意見交換・情報共有を行い、調整することができました。

・今後の課題や改善事項等（自由記述）

事業者	市担当課
コロナ禍の時期も乗り越え、業務モラルを保ちながら個人のスキルアップを試みている。 スタッフ人数が少ない、新人が多い、高齢化、体調問題など勤務は“半日ベース”の複雑なシフト体制を組んでいる状況である。 市民活動ブース「部室」をはじめ、他にはない事務作業の多い市民活動センターとなっており、「収支報告」「金銭出納帳」「部室管理」など各人がプログラムを作ってワークロードを緩和している。 設立当時から“常勤者の居ない”アルバイト形式時間給の体制を続けているが、これまでの経験を活かしながら次期継続体制について考える必要がある。	事業者のスタッフの高齢化や人員不足、人材育成等の課題がありますが、今後も事業者と一体になって実施できる内容を検討し、市民活動センターと市民活動課双方で調整・協力していきます。



協働事業に関するお問い合わせは

大和市 市民活動課

協働・ボランティア・県人会・市民活動支援係

☎046-260-5103

大和市民活動センター

☎046-260-2586